

2023年9月7日(木)朝のデボーション

ルツ記4章1～22節

『ペレツの系図の先に』

■ ルツ記3章1～18節 『身の落ち着く所』 * 神は見えない御手を働かせて信仰者を導かれる。

1. ナオミはルツが幸せになるために、ボアズのところに行ってプロポーズをすることを提案する。
2. ルツはナオミが命じたことをすべて行い、ボアズに正直にすべてのことを打ち明けた。
3. ボアズはルツとの結婚のためにもっと近い親類の買い戻しの権利のある親類に尋ねに行った。

本論:『ペレツの系図の先に』 * ルツ記4章を読んで答えましょう

1. 「買い戻しの権利について」(4章1～6節) * 「門」は取引の契約を交わしたり、裁判を行う所。
 - ①ボアズはどのように買い戻しの権利のある親類に対し、エリメクの畑のことを尋ねたのですか。
→
 - ②親類がエリメクの畑を買い受けるときにはどんな責任が伴いますか。
→
 - ③親類が買い戻しの権利を放棄したのは、結局何が理由だったと思いますか。
→
2. 「ボアズの公の宣言」(7～12節) * 「履き物を脱いで相手に渡す」のは権利の譲渡を意味する
 - ①ボアズは権利の譲渡を受けて、長老たちと人々の前で、公にどんな宣言をしましたか(2つ)。
→
 - ②門にいたすべての民と長老たちは、ボアズの宣言を聞いてどうしましたか。
→
 - ③「タマルがユダに産んだペレツの家のように」とはどういうことですか(創世記38章)。
→
3. 「祝福された結婚」(13～22節) * 公明正大にボアズはルツを妻として迎えた。
 - ①ボアズとルツに男の子が与えられたことを、近所の女たちはどのように祝福していますか。
→
 - ②男の子を抱いたナオミはどんなことを思いましたか。
→
 - ③オベデの先にダビデが生まれてくる系図は何を表していますか。
→

【適用と分かち合い】

1. ボアズが一つ一つ手順を踏んで行動できたのはなぜですか。
2. 姑ナオミ、嫁ルツ、親類ボアズは、それぞれ何を基準として行動しましたか。
3. 「ルツ記」の結論から、この書が書かれた目的は何ですか。